

第11回

宇都宮大学企業交流会のご案内

宇都宮大学では、大学、研究機関等の研究内容や、学生等の取り組みなどを地域企業の皆さまに広く知って頂くとともに、企業の皆さまのご意見やご要望を伺う機会として、11回目となります本交流会を開催致します。昨年度から採用した新たな視点である、企業さまから大学、研究機関へのアピールの機会を引き続き、ご提供し、昨年と同様、双方向の情報提供の場にしたいと考えているところです。この交流会をとおして、新たな協同活動への展開や、人的交流が派生することで、地域創生の一助となることを期待しております。企業の皆さま、是非ご参加をご検討下さい。

ポスターセッションは時間内で自由な時間にご参加いただけます。
また、終了後に懇親会も行ないますのであわせてご参加下さい。

日時 平成29年 **9月11日(月)** 14:00~17:15

会場 マロニエプラザ大展示場 (栃木県宇都宮市元今泉6-1-37)

プログラム

13:30~17:00 受付
(懇親会のみに参加される方は、直接懇親会会場で受付して下さい)
14:00~17:15 ポスターセッション
15:45~17:05 講演会

テーマ「地域で活躍中の産学金連携事例」

- 15:45~16:25 大学と金融機関との連携による地域企業ニーズへの対応
国立大学法人 山梨大学 研究推進・社会連携機構
准教授・統括コーディネーター 還田 隆 氏
- 16:25~17:05 金融機関が考える地元企業と学金連携のパートナーシップ
米沢信用金庫 加藤 博良 氏

17:30~18:30 懇親会(マロニエプラザ小展示場)

参加費

無料 (懇親会は 2,000円)

問合せ先

宇都宮大学地域共生研究開発センター
TEL 028-689-6316 FAX 028-689-6320
E-mail:chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

申込み方法

Webからお申し込み下さい。
URL www.sangaku.utsunomiya-u.ac.jp/2017.html



同時開催

光融合技術イノベーションセンター研究成果発表会

内容 基調講演・研究開発事例発表

主催 栃木県・とちぎ光産業振興協議会・光融合技術イノベーションセンター

■主 催：宇都宮大学

■後 援：宇都宮大学アグリ支援機構、宇都宮大学地域共生研究開発センター産学交流振興会
栃木県立宇都宮産業展示館 (マロニエプラザ)

■ご講演者様の紹介

基調テーマ「地域で活躍中の産学金連携事例」

氏名	発表の題目と要約
国立大学法人 山梨大学 研究推進・社会連携機構 社会連携・知財管理センター 准教授・統括コーディネーター 兼 水素・燃料電池技術支援室副室長 還田 隆 様 (15:45~16:25)	『大学と金融機関との連携による地元企業ニーズへの対応』 産学官の連携では、大学（研究者）が保有するシーズを企業等へ情報提供し、活用を探るケースと、企業や地域側で抱える課題を解決する際に大学が支援するケースとに大別できる。地域にささえられるべき地方大学では特に後者の重みが増している。 山梨大学では金融機関や地域諸団体の協力を得て活動を行っているが、その状況についてお伝えする。
米沢信用金庫 加藤 博良 様 (16:25~17:05)	『金融機関が考える地元企業と学金連携のパートナーシップ』 地域経済を支える中小零細企業がイノベーションを創出するためには大学との連携が有効であると考えられるが、企業側には、依然、「大学の敷居が高い」「マッチング精度が低い」といった意識があり連携の阻害要因になっている。 地域における産学連携の成功には、地方創生の担い手として期待される金融機関がどのように関わっていくかがポイントになってくると考える。 本講演では、地域金融機関が大学と連携しコーディネーターの役割を担い、地域活性化に取り組む「産学金連携システム」の事例を紹介する。

■大学事業紹介コーナー

No	氏名 職位	発表 題目
大-1	地域共生研究開発センターの各種事業等のご紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・産学連携・知的財産部門の活動紹介 <ul style="list-style-type: none"> －各種産学連携ネットワーク、技術相談 －宇都宮大学の特許情報 －産学交流振興会加入へのお誘い ・URA室の活動紹介 <ul style="list-style-type: none"> －教員と連携する企業パートナーを探しています。 －公的資金の産学連携による獲得を支援します。 ・光融合技術イノベーションセンター事業のご紹介 <ul style="list-style-type: none"> －外部利用公開機器をご紹介します。 ・第14回学生&企業研究発表会（2017/12/2）のお知らせ 	
大-2	松本 太輝 准教授	受託機器分析サービスのご紹介
大-3	茨城大学 社会連携センター	茨城大学 産学官連携活動紹介
大-4	群馬大学	首都圏北部4大学連合(4u)

■宇都宮大学からの発表

アグリ・バイオ

No	氏名 職位	発表 題目
ア-1	齋藤 高弘 教授 田村 匡嗣 助教	栃木県産農産食品の栽培、加工および評価
ア-2	岩永 将司 准教授	次世代型カイコバキュロウイルス発現系の開発
ア-3	矢ヶ崎一三 特任教授	食品機能新規検定系と動物モデル
ア-4	加藤 寛 特任助教	LAMP法によるイチゴ炭疽病等の高感度迅速検出
ア-5	福井えみ子 教授	ホルスタイン種および黒毛和種におけるケモカイン遺伝子多型と繁殖性について

ア-6	山根 健治 教授	精油によるイチゴの品質保持
ア-7	羽生 直人 教授	タンパク質の変性を利用した木材防腐処理
ア-8	金野 尚武 准教授	褐色腐朽菌オウズラタケ由来のペクチン分解酵素
ア-9	二瓶 賢一 准教授	天然ポリフェノール（レスベラトロール、イソフラボン、およびロドデンドロール）の親水性誘導体の開発
ア-10	横田 信三 教授 石栗 太 准教授	森林資源利用学・木材材料学研究室の研究紹介
ア-11	飯郷 雅之 教授	矢板市における生物多様性に関する環境教育研究調査

機 械

No	氏名 職位	発表題目
機-1	嶋脇 聡 教授	CT画像から構築した生体モデルを用いた三次元生体運動シミュレーション
機-2	山本篤史郎 准教授	異種金属接合部の過冷却合金化
機-3	鄒 艶華 准教授	磁気研磨技術の基礎と応用
機-4	高山 善匡 教授	環境負荷低減を目指した材料組織制御・接合技術

化 学

No	氏名 職位	発表題目
化-1	加藤 紀弘 教授 奈須野恵理 助教	高分子ヒドロゲルの高機能化と利用技術
化-2	飯村 兼一 准教授	有機分子膜を用いた界面制御と機能化
化-3	佐藤 剛史 准教授	膜・超臨界流体を利用した様々なプロセスの開発
化-4	鈴木 昇 教授	粉体・界面工学研究室(1) 表面を改質する・表面を分析する
化-5	佐藤 正秀 准教授	粉体・界面工学研究室(2) ナノインク・ナノ流体
化-6	古澤 毅 准教授	粉体・界面工学研究室(3) バイオマスのがス化およびBDF合成
化-7	松本 太輝 准教授	液相プロセスによる光機能性材料の創出

電 気

No	氏名 職位	発表題目
電-1	平田 光男 教授 鈴木 雅康 助教	制御理論の産業応用
電-2	佐久間洋志 准教授	省エネ磁場発生装置とその他計測器・ナノ粒子製造装置開発
電-3	入江 晃巨 教授	超伝導先進デバイス技術
電-4	八巻 和宏 助教	酸化物単結晶の育成

情 報

No	氏名 職位	発表題目
情-1	横田 隆史 教授 大津 金光 准教授 大川 猛 助教	並列・分散アーキテクチャによる超高性能システム技術
情-2	大川 猛 助教	ロボットへのFPGA導入を容易化するコンポーネント技術

情-3	伊藤 篤 教授 渡辺 裕 客員教授 東海林健二 教授 佐藤 美恵 教授 羽多野裕之 准教授	BLE ビーコンの活用による観光資源開発
情-4	阿山みよし 教授 佐々木和也 教授 石川 智治 准教授 森 博志 助教 堀江 昭次 特別研究員 (栃木県産業技術センター)	結城紬の魅力の解明とシステム化に関する研究

光学（光融合技術イノベーションセンター）

No	氏名 職位	発表題目
光-1	杉原 興浩 教授	光ファイバーを用いた車載用ギガビットイーサネット通信
光-2	早崎 芳夫 教授 長谷川智士 助教	先端光技術を用いた生体内細胞機能の制御による生命現象の解明
光-3	篠田 一馬 助教	ワンショットマルチスペクトルカメラとその応用
光-4	大谷 幸利 教授 ネイザン ヘーガン 助教	偏光や分光情報の動的測定技術

デザイン

No	氏名 職位	発表題目
デー1	横尾 昇剛 教授	地域の環境エネルギー利用技術開発
デー2	糸井川高穂 助教	工場内の温熱環境を改善する—シミュレーションと実験に基づいた提案—
デー3		大学生のアイデアの活用—子供安全・環境負荷低減に向けて—
デー4	中島 章典 教授	地域デザイン科学部附属地域デザインセンター取組紹介
	中島 宗皓 教授	
	中島 史郎 教授	
	石井 大一郎 准教授	地域プロジェクト演習の進捗報告
	佐藤 栄治 准教授	
	長田 哲平 助教	
	鈴木 達也 特任助教	
坂本 文子 コーディネーター		

教 育

No	氏名 職位	発表題目
教-1	小宮 秀明 教授	多周波インピーダンスを用いた冷却中の筋内部温度の非侵襲的測定

■小山工業高等専門学校様からの発表

小山工業高等専門学校

No	氏名 職位	研究室名	発表題目
専-1	上田 誠 教授	物質工学科	地域との協働による地元素材からの酵母の分離とパンの開発
専-2	酒井 洋 准教授	物質工学科	両親媒性物質が水表面に作る単分子膜の性質

専-3	大島 心平 准教授	電気電子創造工学科	無線通信回路技術及びモジュール化技術の研究開発
専-4	上田 誠 教授	地域イノベーション サポートセンター長	小山高専地域連携協力会について

■帝京大学様からの発表

帝 京 大 学			
No	氏名 職位	研究室名	発 表 題 目
帝-1	小川 充洋 講師	情報電子工学科 小川充洋研究室	非侵襲生体計測とその応用
帝-2	藤平 昌寿 サブコーディネーター	地域活性化研究センター	地域活性化研究センターの活動について
帝-3			科学技術コミュニケーションネットワーク「とちぎサイエンスらいおん」について

■足利工業大学様からの発表

足 利 工 業 大 学			
No	氏名 職位	研究室名	発 表 題 目
足-1	山門 實 看護学部長		アミノインデックス技術の臨床応用ーアミノインデックスメタボリックリクススクリーニングの開発ー
足-2	横山 和哉 教授	横山研究室	非接触磁気浮上走行装置の製作
足-3	仁田 佳宏 准教授	仁田研究室	構造物点検のための飛行体の検討
足-4	山城 光雄 教授	山城研究室	習熟モデルを用いた USB メモリの価格に関する研究
足-5	荒川 一也 准教授	荒川研究室	マットレスの寝返り難易度測定器の開発 (その2)
足-6	中條 祐一 教授	中條研究室	エネルギー環境研究を核とした初等中等教育から高等教育に至る工学教育の推進
足-7	野田 佳雅 助教	総合研究センター	潜水型水撃ポンプの開発
足-8	林 史夫 准教授	群馬大学 機器分析センター	りょうもうアライアンス

■地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）連携校様からの学生発表

芝 浦 工 業 大 学				
No	氏名 職位	研究部室名	発 表 題 目	
芝-1	塩谷 恵佑 M1	花房研究室	川口市の認知度向上のための農業用ロボットの開発	
芝-2	中山雄一郎 M1	伊東研究室	レーザーを用いた交通安全システム開発プロジェクト	
芝-3	北村 隆 M1	長谷川研究室	新規参入農家支援システムの開発	
芝-4	半田 聡 M2	作山研究室	サテライトラボを拠点とした超高齢社会対応まちづくりの社会実験	
芝-5	高口 太郎 M1	花房研究室	花きの需要喚起と定着への取組について	
芝-6	清水 真久 M1	石渡研究室	筋力測定機器を用いた健康相談システムの開発	
芝-7	飯村 仁一 M1	山本研究室	震災時における安否確認と救助補助自動化システム	
芝-8	藤井 直樹 M2	長谷川研究室	日常生活で利用可能な革新的な梱包方法の提案	
芝-9	山崎 拓 M2	間野研究室	音声可視化・強調技術	
芝-10	加藤 優吾 M1	福井研究室	農産品のアンチエイジング効果による高付加価値化の実現	

帝 京 大 学

No	氏名 職位	研究部室名	発 表 題 目
帝-1	扇子 拓也 M1	食品分析学研究室	食肉中の脂質のイメージング質量分析による可視化
帝-2	佐藤 圭 M2	食品分析学研究室	イチゴ中のアントシアニン、糖、有機酸のイメージング質量分析による可視化

■ 栃木県農政部様からの発表

栃 木 県 農 政 部

No	試験機関名	発表代表者氏名	研究部室名	発 表 題 目
県-1	栃木県 農業試験場	大島 一則 部長補佐兼室長	野菜研究室	にら新品種「ゆめみどり」の機能性成分を高める栽培法と加工技術の開発
県-2		人見 良実 技師	土壌環境研究室	地域資源のリン酸質肥料としての活用—米ぬかの発酵—
県-3		大橋 隆 特別研究員 (TL)	いちご研究所 開発研究室	プレミアム・スカイベリーの栽培方法に関する提案
県-4		酒向 佑輔 技師	乳牛研究室	生乳中の機能性成分を増加させる飼養管理技術の研究
県-5		大島 藤太 特別研究員	肉牛研究所	ICT を利用した繁殖牛管理の高度化技術の検討
県-6		笹木 俊 技師	養豚研究室	県内産豚肉とその食肉製品の品質特性の検討
県-7		齋藤 憲夫 主任研究員	草地飼料研究室	飼料用エンバクの優良品種について
県-8		木下 強 特別研究員	畜産環境研究室	長期連続運転がバイオガスプラントのメタン発酵施設に及ぼす影響の検討

■ 栃木県産業技術センター様からの発表

栃木県産業技術センター

No	氏名 職位	所 属	発 表 題 目
産-1	中野 祐一 技師	機械電子技術部 機械システム研究室	人工骨頭の高精度切削加工
産-2	清水 暁 主任研究員	機械電子技術部 電子応用研究室	ヒートポンプを核とした複数の熱源を有効に利用するシステムの開発
産-3	中田あゆ美 主任	材料技術部 有機材料研究室	農業利用に適したハイドロゲルの開発
産-4	佐伯 和彦 特別研究員	材料技術部 無機材料研究室	油水分離フィルターの開発
産-5	石川 信幸 主任研究員	材料技術部 金属材料研究室	凍結鋳型を用いた大型薄肉鋳物製造のための造型・鋳造技術の開発
産-6	星 佳宏 主任	食品技術部 食品加工研究室	大麦のダイレクト Gel 転換による高付加価値加工技術の開発
産-7	小阪 忠之 特別研究員	食品技術部 微生物応用研究室	「小豆」「いんげんまめ」の高ポリアミン品種の探索とポリアミンを強化した「小豆麴」「いんげんまめ麴」の開発
産-8	井田 恵司 主任研究員	繊維技術支援センター	酸性染料の還元抜染性に関する研究
産-9	佐瀬 文彦 特別研究員 (TL)	繊維技術支援センター	トーションレースによるロープの開発

産-10	阿部 雅 主任研究員	県南技術支援センター	プレス加工における面内引張応力援用による小径穴抜き加工に関する研究
産-11	堀江 昭次 特別研究員	繊維物技術支援センター	結城紬染色生地見本帳の作成と新製品開発

■ 栃木企業コーナー

栃 木 企 業			
No	会 社 名	No	会 社 名
栃企-1	有限会社那須化成	栃企-8	株式会社シンシ
栃企-2	KOIDE JAPAN 株式会社	栃企-9	株式会社大高商事
栃企-3	帝国繊維株式会社	栃企-10	不二ラテックス株式会社
	株式会社テイセンテクノ	栃企-11	アクリーグ株式会社
栃企-4	栄研化学株式会社	栃企-12	株式会社伸光製作所
栃企-5	ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社	栃企-13	エム・イー・エム・シー株式会社
栃企-6	桑名商事株式会社	栃企-14	竹内産業株式会社
栃企-7	株式会社誠和。		

■ 産学連携事例コーナー

産 学 連 携 事 例 コー ナー			
No	企 業 名	担 当 教 員	発 表 題 目
連-1	アイ・イート株式会社	尾崎 功一 教授 柏崎 勝 准教授	日本産イチゴの超高品質世界展開技術開発
連-2	株式会社大高商事	齋藤 高弘 教授 田村 匡嗣 助教	ベビーリーフの鮮度維持技術の開発
連-3	パスキン工業株式会社	丸岡 正知 准教授	一般廃棄物焼却灰溶融スラグのエージング方法とこれを用いたコンクリートの諸物性
連-4	クラフトワーク株式会社	横尾 昇剛 教授	地産地消エネルギー活用としての地中熱利用冷暖房システムの開発
連-5	有限会社マロニエ技術研究所	鈴木 昇 教授	酸化チタン光触媒を用いた除菌空気清浄機の商品化研究
連-6	株式会社伸光製作所	鄒 艶華 准教授	磁気援用加工法によるプラスチック材料の精密研磨技術の開発
連-7	金子メディックス株式会社	鄒 艶華 准教授	磁気援用加工法による人体用注射針パイプの外表面研磨に関する研究
連-8	株式会社アクトリー	飯郷 雅之 教授	焼却エネルギー利用型農業システムの構築 ーエコビレッジ構想の実現と展開ー
連-9	株式会社夢創造	飯郷 雅之 教授	性格関連遺伝子の多型に着目した温泉トラフグ種苗生産技術の高度化に関する研究

■ 産学連携支援機関コーナー

産 学 支 援 機 関			
No	会 社 名	No	会 社 名
支-1	株式会社足利銀行	支-5	栃木県産業振興センター
支-2	日本政策金融公庫 宇都宮支店	支-6	産学連携学会
支-3	野村証券 宇都宮支店	支-7	日本技術士会 栃木県支部
支-4	株式会社栃木銀行		

会場案内

会場内で発表風景の写真撮影をし、後日公表することがありますので予めご了承ください。



大展示場内の配置は
こちらで今後、公開予定

マロニエプラザへのアクセス



〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-1-37

■ 駐車場あります

■ 車でご来場の場合

東京～宇都宮(東北自動車道) 約130Km
仙台～宇都宮(東北自動車道) 約230Km
東北自動車道 宇都宮 I.C. 鹿沼 I.C. から約30分
北関東自動車道 宇都宮・上三川 I.C. から約15分

■ 電車でご来場の場合

東京～宇都宮(東北新幹線) 約50分
上野～宇都宮(宇都宮線快速) 約1時間25分
仙台～宇都宮(東北新幹線) 約50分
宇都宮駅から徒歩約15分、車で約5分

問合せ先

TEL: 028-689-6316

FAX: 028-689-6320

E-mail: chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp